

函館医学誌について

名 称：函館医学誌 ISSN 0910-0725
 略 称：函 医 誌
 欧 文 名 称：HAKODATE MEDICAL JOURNAL.
 略 称：H.M.J.
 発 行 者：吉 川 修 身
 発 行 所：041-8680 函館市港町 1 丁目10番 1 号 市立函館病院
 編集委員会委員：下山 則彦（代表） 丸尾 泰則 丹羽 潤 森下 清文
 成瀬 宏仁 野田 幹雄 遠山 茂
 連 絡 先：市立函館病院 T E L 0138-43-2000
 F A X 0138-43-4434(事務局)
 Hakodate Municipal Hospital
 1-10-1 Minatocho, Hakodate, 041-8680 Japan
 Phone : 0138-43-2000
 F A X : 0138-43-4426(医局)

『函館医学誌』投稿規定

(1997年11月改訂)

- 投 稿 内 容** 本誌は、原著、症例報告、総説、診療研究、その他の研究活動などの内容からなり、他誌に発表されていないものに限る。
- 投 稿 資 格** 市立函館病院職員、その関係者ならびに本誌に掲載を希望する医療関係者とする。
- 原 稿 の 採 択** 編集委員会において決定する。
- 原 稿 の 様 式**
- 1) 投稿論文は、原著、症例報告、総説、診療研究、その他とし、その種目別を明記する。
 - 2) 原稿の様式は、和文の題名・著者名・英文の題名・英文著者名（例：Taro HAKODATE）・Key words・所属の順に記載する。
 - 3) 原著の本文は、目的、対象、方法、成績、考察、結論の順に記述する。
 - 4) その他の原稿は、原則として原著に準じて記述する。
- 原稿の書き方**
- 1) 原稿は、A4判用紙に22字×35行で記載する。
 - 2) 原稿は、原則としてワードプロセッサによるものとし、その電子データを入れた媒体を添付する。また、ワープロ専用機を使用した場合には、機種名、パソコンの場合は、ワープロソフト名を記入し、印刷原稿も添付する。
 - 3) 手書き原稿も従来通り受け付ける。その場合、B5判用紙に400字（20字×20行）とし、外国語はタイプライターを使用する。
 - 4) 現代かな遣いにしたが、医学用語を除き常用漢字とする。
 - 5) 度量衡は、国際単位系（SI）で記載する。
 - 6) 論文にしばしば繰り返される語は略語を用いても差し支えないが、初出の時は完全な用語を用い、以下に略語を用いることを明記する。
 - 7) 図表の大きさは、B5またはキャビネ版とし、印刷出来上りが見やすいように工夫する。写真は、キャビネまたは手札版とする。カラー印刷は、論文に必須なものに限り採用することが出来る。ただし、採否は予め著者と相談のうえ、編集委員会において決定する。
- 索 引 用 語 (key words)** 用語は、英語とし、5個以内にとどめ、原著表題ページ英文著者名の下段に記載する。また、索引から目的の論文が確実に拾い出されるように具体的かつ的確なものとする。
- 枚 数 制 限**
- 1) 原稿の長さは、400字詰用紙で20枚以内相当を原則とする。
 - 2) 図表は、原稿とは別とし、15枚以内を原則とする。また、図表の挿入箇所を用紙の欄外に朱書する。

- 引用文献** 1) 文献は、主要文献のみとし、本文中に肩付け引用番号順に配列する。
 2) 著者名は、3名まで列記し、それ以上は、「ほか」または「et al」とする。
 3) 誌名は略記し、外国雑誌は Index medicus, 邦文雑誌は医学中央雑誌収載誌目録略名表に準ずる。
 4) 文献の記載順序
 イ) 雑誌 (引用番号) 著者名: 題名. 雑誌名, 発行西暦年; 巻: 頁-頁.
 例 1) 竹下政昭, 大和田進, 中村正治ほか: 胃癌患者の免疫能. 日外会誌, 1987; 88: 947-949.
 2) Riggs BL, Wahner HW, Dunn WL, et al: Malignant lymphoma with a high content of epithelioid histiocytes. Am J Clin Pathol, 1989; 66: 12-20.
 ロ) 単行本 (引用番号) 著者名: 分担項目名, 編者名, 書名, (巻), (版), 発行所, 発行地, 発行西暦年, p 頁-頁. () 内は必要ある時のみ。
 例 3) 中村恭一: 胃癌の組織発生, 大井実編, 胃癌の臨床, 上巻, 2版, 光文館, 東京, 1988, p123-130.
 4) Crawford PT: Care before and after surgery, Crenshaw AH ed, Campbell's operative orthopedics, Vol 2, 3rd ed, Saunders, Philadelphia, 1980, p25-31.
- 校正** 原則として著者がおこなう。ただし、表題、所属および著者名の記入様式は、編集委員会において校正する場合がある。
- 著作権** 本誌に掲載された論文の著作権は『函館医学誌』編集委員会に帰属する。
- 掲載料金** 原則として無料とするが、特別の印刷技術を要する場合（カラーを含む）などは有料とすることがある。ただし別刷は、実費負担とする。
- 規定の改正** 必要に応じ当該投稿規定を改正する。その内容については、編集委員会において決定する。

『函館医学誌』における患者プライバシー保護に関する指針

- 1) 患者個人の特定可能な氏名、入院番号、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
年齢の記載に関しては個人が特定できないよう配慮する。
- 2) 患者の住所は記載しない。
- 3) 日付は臨床経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい。
- 4) 既に他院などで診断・治療を受けている場合、その施設名ならびに所在地を記載しない。
- 5) 顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体が分らないよう眼球のみの拡大写真とする。
- 6) 症例を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
- 7) 以上の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人、小児では保護者）から得るか、倫理委員会の承認を得る。
- 8) 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省、厚生労働省及び経済産業省）（平成13年3月29日）による規定を遵守する。
- 9) この指針は平成20年度より適用する。